

## カービュー マーケットウォッチ (2010年1月)

自動車総合サイト「carview.co.jp」を運営する株式会社カービュー(本社:東京都中央区、代表取締役:松本 基)は、社団法人 日本自動車販売協会連合会が公表する「月間登録台数ランキング」をもとに、日本国内における自動車マーケットの動きを独自分析する。

年間合計では前年比92.8%と5年連続のマイナスに

09年 1月~12月順位	08年 1月~12月順位	動向	モデル名	メーカー名	台数
1	(4)	↑	プリウス	トヨタ	208,876
2	(1)	↓	フィット	ホンダ	157,324
3	(3)	→	ヴィッツ	トヨタ	117,655
4	(7)	↑	パッソ	トヨタ	98,883
5	(-)	↑	インサイト	ホンダ	93,283
6	(2)	↓	カロラ	トヨタ	90,178
7	(16)	↑	フリード	ホンダ	79,525
8	(6)	↓	セレナ	日産	78,836
9	(8)	↓	ヴォクシー	トヨタ	71,426
10	(11)	↑	ノート	日産	65,745
11	(22)	↑	ウィッシュ	トヨタ	60,357
12	(17)	↑	キューブ	日産	59,760
13	(9)	↓	ティーダ	日産	57,624
14	(10)	↓	デミオ	マツダ	55,603
15	(14)	↓	ノア	トヨタ	52,933
16	(13)	↓	エスティマ	トヨタ	52,403
17	(23)	↑	ヴェルファイア	トヨタ	49,636
18	(12)	↓	スイフト	スズキ	46,159
19	(15)	↓	ラクティス	トヨタ	45,169
20	(20)	→	ステップワゴン	ホンダ	43,020

※ 社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ

※ 輸入車および軽自動車を除く

## カービュー編集部独自の分析

### ■乗用車全体で前年同月比127.3%と5カ月連続プラスも 年間合計では前年比92.8%と5年連続のマイナスに

今回は、日本自動車販売協会連合会（自販連）、全国軽自動車協会連合会（全軽自協）、日本自動車輸入組合（JAIA）が発表した12月の販売データからマーケット概況をチェックしていこう。まず輸入車、軽乗用車を含め、国内で販売された乗用車全体では32万1514台で、前年同月比127.3%と5カ月連続で前年を上回った。ただ2009年の年間合計では392万3740台で、前年比92.8%にとどまり、5年連続の前年割れとなった。商用車を含めたクルマ販売全体でも9月以降は前年同月比がプラスに転じたものの、460万9181台と31年ぶりに500万台を割り込み、ほぼ1978年レベルまで落ち込んだ。

輸入車と軽乗用車を除く3/5ナンバーの国産乗用車は21万989台で、前年同月比は149.9%（日産デュアリス輸入分含む）。これで6カ月連続のプラスとなったが、年間合計では247万2523台、前年比95.1%。13カ月連続で前年割れの軽乗用車が128万3428台、前年比89.9%と落ち込んだ分をカバーするほどには伸びなかった。月間ランキングは7カ月連続で「トヨタ プリウス」、「ホンダ フィット」が1、2位で、3位は前月5位から「ホンダ インサイト」がランクアップしたが、ベスト10の顔ぶれには変動はなかった。

全乗用車の年間ランキングでは、「トヨタ プリウス」が20万8876台、前年比285.7%の大ヒットで初のトップ。2008年まで5年連続トップだった2位「スズキ ワゴン R」に7348台の差をつけ、初めてハイブリッドカーが年間販売台数トップの座を手に入れた。以下、3位「ホンダ フィット」15万7324台、4位「ダイハツ タント」14万5432台、5位「ダイハツ ムーヴ（コンテ、ラテ除く）」11万9396台と続き、ホンダのハイブリッドカー「インサイト」も9万3283台で8位にランクインし、あらためて2009年がハイブリッドカーブームだったことを印象づけた。

また輸入車は乗用車全体では1万9328台で、前年同月比107.1%、海外メーカー製のみでも1万8590台で、107.5%と2カ月連続で前年を上回った。海外メーカーブランド別乗用車ランキングは、BMWが4220台で2008年6月以来のトップとなり、前年同月比も2カ月連続のプラス。年間ランキングではVW（フォルクスワーゲン）が前年比83.3%ながら、3万7925台で10年連続輸入車ブランドNo.1を獲得。車名別年間ランキングでも「VW ゴルフシリーズ」が2万1413台で7年連続トップとなった。

## ■各ブランドの「ココも気になる！」

### ●レクサス：ハイブリッドカー人気で前年を上回る

08年は急激な景気後退の影響で、2万5945台、前年比74.5%と前年割れだったが、09年はハイブリッドSUVの「RX450h」やハイブリッド専用モデル「HS250h」の投入が当たり、7月から6カ月連続で前年同月比がプラスに転じ、2万8167台で前年比108.6%と前年を上回った。とはいえ、04年にレクサスブランドが設立された当初の年間目標は4万台。のちに3万台に下方修正されたが、まだ道半ばといった状況だ。車両価格を問わず、環境性能が必須要件となった今、どう新しいプレミアム感を訴求していくのか、今後の戦略に注目したい。

### ●トヨタ：ハイブリッドカーの拡充に活路を見いだす

09年3月期の決算で、連結営業利益4610億円マイナスとトヨタ史上初の赤字転落となったが、5月にモデルチェンジした3代目「プリウス」が爆発的にヒット。半年以上の納車待ち状態ながら、年間20万台以上を売り上げた。それでも台数的には国産乗用車合計123万6769台で前年比96.1%と前年を上回れなかった。ただ12月に発売されたハイブリッドセダン「SAI」が12月単月で3798台と好スタート。前年同月比では5カ月連続で2ケタ増と完全に勢いを取り戻している。先日のデトロイトショーでハイブリッドコンセプト「FT-CH」を公開するなど、ハイブリッドカー路線ばく進中だ。

### ●日産：モデルチェンジの成否がカギ

08年後半にモデルチェンジが相次いだこともあり、09年は「スカイラインクロスオーバー」、「フーガ」ぐらいしか注目のニューモデルがなかった日産。それでも4月から始まったエコカー減税にいち早く対応するなど、フットワークの良さで勝負に出たが、軽乗用車を含めた乗用車で52万235台、前年比89.8%と2ケタのマイナスになってしまった。EV専用モデル「リーフ」の公開で話題を集めたものの、実弾不足が響いた形だ。今年は「マーチ」、「エルグランド」、「セレナ」、「ティーダ」と主要モデルがモデルチェンジ時期となる。それだけに日産復活のカギを握る一年になりそうだ。

### ●ホンダ：切れ目のないモデルチェンジで2年連続のプラスに！

08年はフィットが国産3／5ナンバー乗用車の年間トップとなり、ホンダ全体でも前年を上回る売れ行きになったが、09年も「インサイト」が月平均8480台と月間販売目標5000台の1.7倍となる大ヒット。堅調に売れた「フィット（乗用車ランキング3位）」、「フリード（同10位）」に加え、10月にモデルチェンジした「ステップワゴン」も11月7501台、12月7075台と月間販売目標6000台をクリア。軽乗用車は前年比80.8%と落ち込んだが、これを含めた乗用車合計で59万3945台、前年比101.6%と2年連続で前年を上回った。今年は「CR-Z」、「フィット ハイブリッド」でトヨタの牙城に迫る。

### ●マツダ／スバル／三菱：ハイブリッドのないメーカーの戦い方は？

マツダは6月に「アクセラ」をモデルチェンジし、年間合計2万6761台、前年比161.0%とスマッシュヒットになったが、軽乗用車を含めた乗用車全体では17万5703台、前年比84.6%。スバルは基幹モデルの「レガシィ」を5月にモデルチェンジしたが、年間合計2万8260台、前年比107.2%と伸び悩み、乗用車全体で11万9763台、前年比83.4%。三菱はEVの「i-MiEV」をリリースし話題となったものの、法人向けだったため追い風とならず、乗用車全体で11万9146台、前年比82.9%にとどまった。新車購入補助金制度は9月まで延長されるが、3月末までとなっているエコカー減税は不透明な状況。やはり燃費性能を強く訴求できるモデルがないと厳しいかもしれない。

### ●スズキ／ダイハツ：軽2強のバトル再燃必至

商用車を含む軽自動車全体でも168万8170台で前年比90.3%と低調だったが、ダイハツは「ムーヴ」、「タント」、「ミラ」の3本柱にうまく派生モデルを投入し、58万8301台で3年連続軽自動車No.1の座を堅持。スズキは昨年の4万4884台から3万5907台に差を詰めたものの、一歩及ばなかった。ただ3／5ナンバー車を含む乗用車全体ではスズキ48万7492台、ダイハツ47万4694台と逆転する。今年とともに軽自動車はモデルチェンジ端境期になるが、コンパクトカーでは「スイフト」と「ブーン」がモデルチェンジ時期。昨年12月発売の「アルト」、「タントエグゼ」を含めて、激しいバトルになりそうだ。

### ●輸入車：マニアお楽しみモデルが目白押し

09年は年間トップ3のVW3万7925台（前年比83.3%）、BMW（ミニ除く）2万9089台（同80.9%）、メルセデス・ベンツ2万8739台（同77.7%）が大幅ダウンだが、4位アウディ1万6171台（同100.8%）、8位フィアット4345台（同128.5%）、11位アルファロメオ2283台（同103.5%）などが前年を上回った。今年ドイツ勢の「BMW 5シリーズ」やコンパクトSUVの「X1」、アウディの新コンパクト「A1」のほか、「メルセデス・ベンツ SLS AMG」、「フェラーリ 458 イタリア」などのスーパーカーや、「プジョー 308RCZ」、「アルファ ジュリエッタ」といった注目モデルが登場予定。輸入車市場の盛り上がりにも期待したい。

上記プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カービュー 広報担当 ([pr@carview.co.jp](mailto:pr@carview.co.jp))

tel : 03-5859-6158 fax : 03-5859-6180

---